

令和6年度第2回君津市地域公共交通会議 会議録

- 1 名 称 君津市地域公共交通会議
- 2 開催日時 令和7年1月17日（金）午前10時00分から10時52分
- 3 開催場所 君津市役所 5階大会議室
- 4 議 題 (1) 路線バス周西線及びコミュニティバス中島・豊英線の見直しについて
(2) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価（案）について
- 5 報告事項 JR久留里線（久留里・上総亀山間）沿線地域交通検討会議の検討結果報告書等について
- 6 配布物 令和6年度第2回君津市地域公共交通会議資料
- 7 出席委員 20名

荒井 淳一	小林 聡	新谷 和宏	成田 斉
手塚 真一	高橋 晴樹	藤代 純一	杉本 忠
鈴木 政一	鈴木 満	田村 学	齋藤 健吉
齊藤 敦	正能 俊輔	伊藤 貴夫	平野 利夫
亀田 達也	藤井 敬宏		

代理出席

錦 織 良 匡（伊藤 昌央 代理）、山 本 朱 美（川名 正志 代理）

欠席委員

伊 丹 嘉 一

- 8 オブザーバー 1名
市 野 将 英（国土交通省関東運輸局交通政策部交通企画課）
- 9 事務局 企画政策部 部長 鈴木 広 夫
企画政策部 次長 津 野 広 昭
企画調整課 課長 中 村 峰 之
企画調整課交通政策室 室長 佐久間 貴 幸
企画調整課交通政策室 主任主事 竹 内 裕 太
企画調整課交通政策室 主任主事 久 保 亮
市民生活部市民生活課 課長 野 村 出
市民生活部市民生活課 係長 倉 見 信 司

10 公開または非公開の別 公開 ・ 非公開

11 傍 聴 者 16名

12 発言の内容

冒頭、事務局（佐久間室長）の進行により開会。

（佐久間室長）

【オブザーバー・出席者の報告】

(荒井会長)

皆様、おはようございます。副市長の荒井と申します。委員の皆様におかれましては、大変ご多用の中、ご出席いただきまして、本当にありがとうございます。

また、日頃より本市の交通行政に対しまして、格別なるご支援・ご協力をいただいておりますことに、改めまして御礼申し上げます。

地域公共交通を取り巻く環境は、人口減少や高齢化が進む中、運転免許の返納を行う高齢者の移動の足の確保などの課題がある一方、運転手不足等を理由にバスの減便や廃止等が全国的に広まっている状況にあります。

こうした中、国の地域公共交通・デザイン実現会議において、移動の足の確保に向けた取り組みの方向性が示され、日本版ライドシェアなど新しい運用も開始されました。

本市では、君津市地域公共交通計画に基づき、持続可能な公共交通を目指し、交通事業者との連携はもとより、多くの方に関心を持っていただき、公共交通に関わる全ての方々とともに取り組んでいく所存でございます。

委員の皆様には、本市の未来につながる持続的な公共交通体系の構築に向け、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、本日は、議題が2件、報告事項が1件となっております。

議題につきましては、バス路線の見直しに関するものと地域公共交通確保維持改善事業の事業評価に関するもの、また、報告事項では、既に報道発表などにより委員の皆様もご承知のことと存じますが、JR久留里線沿線地域交通検討会議の検討結果報告書の概要について報告させていただきます。

委員の皆様には、忌憚のないご意見をいただきますよう、お願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願いいたします。

(佐久間室長)

【資料確認】

(荒井会長)

それでは、しばらくの間、進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

本日の出席委員は、20名で定足数に達しておりますので、これより、令和6年度第2回君津市地域公共交通会議を開催いたします。

なお、本日の会議録署名人でございますが、高橋委員を指名いたします。

それでは、早速、議事にはいります。

まず、議題1 「路線バス周西線及びコミュニティバス中島・豊英線の見直しについて」事務局からの説明を求めます。

(竹内主任主事)

議題1 「路線バス周西線及びコミュニティバス中島・豊英線の見直しについて」

～ 資料に基づき説明 ～

(荒井会長)

議題1につきまして、ご質問・ご意見がありましたらお願いいたします。

本件については、周西線の君津駅から清和公民館間の直通便を5便増加し、中島・豊英線については、周西線との重複を解消し、車両を小さくすることで効率的な運行が図られる見直しになるという内容ですが、いかがでしょうか。

ご意見なければ、議題1について承認としてよろしいでしょうか。

～異議なし～

それでは、次の議題に移ります。続きまして、議題2「地域公共交通確保維持改善事業の事業評価（案）について」事務局からの説明を求めます

(倉見係長)

議題2 「地域公共交通確保維持改善事業の事業評価（案）について」

～ 資料に基づき説明 ～

(荒井会長)

議題2につきまして、ご質問・ご意見がありましたらお願いいたします。

(齊藤委員)

利用者数、収支などを拝見しますと、そこまで利用率が高くないのかなと感じましたが、実際の稼働率は、どの程度なのでしょう。数字などを把握していれば教えてください。

(倉見係長)

稼働率については、運行事業者さんが把握しているかもしれませんが、市では把握しておりません。

(藤代委員)

現在の利用状況は、概ね午前中の予約は埋まっており、午後に若干の余裕があるような状況ですので、稼働率について、予約が入っている時間とそうでない時間ということで計算すると、大体70～80%は、毎日ほぼ動いているという状況でございます。

(荒井会長)

他にご質問、ご意見ございますか。

(鈴木委員)

目標値に関して、利用者数2万人、収支率25%と掲げておりますけれども、実績を見ると、利用者数は目標値に近づいていると考えられますが、収支率は全く届いていないという実績ですので、どのようにこの目標値が出てきたのか、お伺いいたします。

(倉見係長)

目標値につきましては、事業評価の期間が令和5年10月1日から令和6年9月30日までであることから、現行の君津市地域公共交通計画ではなく、前進の君津市地域公共交通網形成計画から引用しています。

(久保主任主事)

デマンドタクシーの利用料金については、対象者によって300円から500円と幅を持たせております。事前に利用登録している方や高齢者は300円、登録のない方に関しては500円という設計ですが、利用者数と利用料金から収入部分を積算し、当時の経常経費、委託料などですが、それらを勘案し、25%が妥当ではないかということで設定しております。

(荒井会長)

他にご質問、ご意見ございますか。

(成田委員)

目標・効果達成状況のご説明の中で、今回はC評価とするとのことでした。この評価基準については、利用者数と収支率に係る目標が2つとも達成しない場合はCで、どちらかが達成していればBになるのではないかとと思われるのですが、この辺について、補足説明いただければと思います。

また、今回のC評価という結果によって、今後の国の補助事業に支障がないのかどうかについても、よろしくお願いします。

(倉見係長)

利用者数と収支率については、目標値の概ね8割をクリアしていれば、B評価としても差し支えないと考えますが、今回は8割に満たないということで、C評価としております。

また、補助金への影響についてですが、C評価の結果、補助金が受けられなくなるということは伺っておりません。

資料に今後の改善点も記載しておりますが、この達成状況がBやAに近づくよう努めてまいります。

(荒井会長)

他にご質問、ご意見ございますか。

(藤井委員)

ここまで、収支率や事業継続に関する質問がありました。

この収支率のみで事業の継続が困難かどうかを判断するのは、事業を展開する上で少し問題があるのではないかと思います。

今回の場合は、国への報告ですので、特に問題はありませんが、この収支率をどう捉え

るべきかについては、ぜひ事務局で検討していただきたいと考えています。

と言いますのも、前半の質問で25%という収支率の妥当性が話題に上りました。コミュニティバスやデマンド交通においては、千葉県内の自治体でも収支率を目標値として設定している事例があります。東京近郊の自治体では50%や40%など、高めに設定しており、千葉県南部では30%や25%、低いところだと20%程度の目標を設定している自治体もあります。これは、健全な公共交通を維持するために、利用者から応分の負担を得る形で運営する必要があるということで、各自治体が考えているためであると思います。

そういった中で、今回の実績値は7.7%となっています。きみぴょん号は、小櫃・上総地域という非常に広いエリアで運行されていますので、今後の改善策として、受益者負担ということで、運賃相当部分の検討が必要となるかもしれません。また、運行方式も含めて、次の計画策定時に、この地域でデマンド交通を維持していくために、どうアプローチするか。目標値に対して、どの程度まで改善できるのか。PDCAサイクルの中で、単年度や中間年での進捗確認を行う自治体が多いのですが、そういった中で、目標をどうクリアしていくのか、それが達成できなかった場合には、それをどう捉え、次の改善に向き合うのかといった具体的な方向性、こういったことを準備していくことが大切だと思いますので、そのようなアプローチをしていただければ結構だと思います。

今回は、国への報告ですので、きちんと実績を取って実施しているということで良いと思いますが、さらに高みを狙うという趣旨でコメントをさせていただきました。

(中村課長)

公共交通を取り巻く状況は、この5年ほどで大きく変化していると認識しております。

1つ目の大きな要因として挙げられるのは、新型コロナウイルスの影響です。利用者が大幅に減少し、その後、一定程度回復したものの、現在も利用者数はコロナ前の7割から8割程度にとどまっている状況です。

もう1つの要因としては、人件費などの経費、物価高騰による影響もあり、運行にかかる全体的なコストが急激に上昇しています。

こうした状況の中で、当初、君津市地域公共交通網形成計画を策定した際の目標と、現在の状況には大きな乖離が生じていると認識しております。

今年4月からスタートした新たな交通計画においては、デマンドタクシーの利用者数を具体的な数値目標として設定しておりますが、これらの様々な要因を踏まえた上で、今後はデマンドタクシーの運行や効率的な配車方法について検討を進めていかなければならないと考えておりますので、先生のご指摘も参考にしながら、今後の取り組みに反映させてまいります。

(藤代委員)

収支率等については、千葉県のホームページにも掲載されていると思います。

この収支率については、燃料費が入っている収支率もありますし、入っていない収支率もあります。システム費用も意外に高く、これが自治体負担になっているか、運行事業者負担になっているかで収支率は大きく変わってきます。

また、燃料費、人件費もかなり上昇してきております。私たちが事業を開始した平成2

5年は、最低賃金が今より200円以上低い状況で、その状況で君津市地域公共交通網形成計画が作られていました。

それから人口減少についても、上総・小櫃地区で3,000人ほど減少しているという状況です。

そういった状況の中、目標値がそのままであるため、ハードルが高くなっていると思います。

(荒井会長)

他にありますでしょうか。

それでは、議題2につきましては、承認ということでよろしいでしょうか。

～異議なし～

(荒井会長)

異議なしのため、議題2は承認といたします。

それでは、国への提出などの準備を進めていただきたいと思います。

続きまして、報告事項に入ります。JR久留里線（久留里・上総亀山間）沿線地域交通検討会議の検討結果報告書等について、事務局から説明を求めます。

(鈴木部長)

報告事項 「JR久留里線（久留里・上総亀山間）沿線地域交通検討会議の検討結果報告書等について」

～ 資料に基づき説明 ～

(荒井会長)

ただいまの報告事項につきまして、ご質問・ご意見がありましたらお願いいたします。

(齊藤委員)

検討結果については、非常に長く検討されて、色々整理されているなど感じております。

私ども商工会議所も、各地区での経済活動を活性化させることは非常に重要だと考えております。これから先、公共交通機関について、皆様と一緒に検討していくような形になるかと思いますが、ぜひ、地域の方たちの足の確保について、皆様に検討いただければと非常に感じております。商工会議所としても様々な形で応援していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いします。

(荒井会長)

他にありますでしょうか。

(君津市観光協会山本事務局長)

先ほどご説明いただいた中で、定時定路線型の交通手段として、路線バスについてのお話でしたが、この報告書の中でも、路線バスでは事業として成り立つ程度の利用客を継続して確保することは困難であると考えられる旨、記載されています。

デマンド型への転換についても検討されているかと思いますが、地域の方々としては、路線バスやデマンド交通に関しても、将来的に先細りしてしまうのではないかという心配があると思います。

また、観光事業を営む事業者の方々もいらっしゃいます。特に亀山地区は、紅葉のシーズンに多くの観光客が訪れる地域ですので、この辺りの足の確保を慎重に地元の方々の意見を聞きながら、検討いただければと考えております。

(中村課長)

今回、JRさんが発表された内容については、バス転換に併せ、地域振興についても、これまで以上にしっかりと取り組んでいくという趣旨であると理解しております。

先ほど齊藤委員からご意見のありました地域経済活性化も含めて、JRさんと協議を重ねながら、地域の皆様の不安を払拭できるよう取り組んでまいりたいと考えております。

(荒井会長)

他に何かご意見、ご質問はありますでしょうか。

それでは、他に意見等ないようですので、以上を持ちまして、本日の議題に係る審議を終了といたします。

皆様、御協力ありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返しいたします。

(佐久間室長)

最後に事務局から、2点ご報告申し上げます。

1点目は、第1回会議でお示した令和6年度君津市地域公共交通計画の取組に係るフォローアップです。

前回会議において、地域公共交通計画に定める取組事項について、取組管理シートで進捗管理や評価等を行っていきたい旨、ご説明させていただいたところですが、年度末になりますので、その実績等について、今年度の結果をまとめたいと考えております。

つきましては、資料の作成等について、別途、依頼させていただきますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

2点目は、次回の会議予定についてです。令和6年度第3回会議につきましては、3月の開催を予定しております。開催日程等が決まりましたら、ご連絡をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、令和6年度第2回君津市地域公共交通会議を閉会といたします。本日は、お忙しいところ、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございました。

午前 10 時 52 分閉会

会議録署名人 高橋 晴樹